農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

みよし市長 小山 祐

市町村名 (市町村コード)	みよし市 (232360)
地域名 (地域内農業集落名)	北部地区 (筋生集落、福谷集落、黒笹集落、高嶺集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6（2024）年10月1日 (第1回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- 北部地区全体の課題として、畑及び樹園地の後継者が不足しているため、新たな農地の受け手を確保する必要がある。
- 筋生集落及び高嶺集落については、特に畑及び樹園地の割合が高くなっているため、今後の畑及び樹園地における受け手の確保は特に重要となる。
- 福谷集落及び黒笹集落は、水田が中心となっているものの、一部に畑や樹園地が点在しており、そちらの受け手を確保する必要がある。また、水田においては、1区画の面積が比較的小さいため、効率的な作業に支障をきたしている。
- 黒笹集落では、一部の水田でイノシシによる鳥獣被害が深刻となっており、営農が困難となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

水稻、麦、露地野菜、果樹の作付けを継続する

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	256 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

北部地区内を区域とする

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

農地バンクへの貸付けを基本とし、担い手（認定農業者、農事組合法人）への農地の集積・集約化を進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

水田において貸付の意向が示されている農地については、農地中間管理機構を通じた担い手への貸し付けを積極的に推進していく。

<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <p>担い手に集約していく農地については、所有者も含めた話し合いを実施し、畔取りの積極的な実施を行うなど、効率的な作業が行えるよう、大区画化を推進していく。</p>
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>新たな担い手の確保については、現状の認定農業者や認定新規就農者以外の法人及び個人 農業者についても、積極的に受入れを行い、入作を促進していく。</p>
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p> <p>作業の効率化が期待できる作業は、農業支援サービス事業者の活用も視野に検討を進める。</p>

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①黒笹集落を中心に、電気柵の設置や積極的な捕獲体制の構築を進めることにより、鳥獣害の防止策を講じ、鳥獣害を削減していく。
- ②黒笹集落の一部における担い手の圃場において、無農薬栽培を進めていく。
- ③高嶺、筋生集落の一部において、ぶどうや施設野菜の栽培圃場を広げていく。